

令和7年度 笹尾西幼稚園・笹尾第一保育園 園評価書

評価基準(④.目標を上回って達成した ③.目標通りに達成した ②.目標を少し下回った ①.目標を大きく下回った)

	内容	評価	成果	課題(今後に向けて)
1	子ども理解をし、一人一人の子どもの発達を支える園づくりに努めましたか。	4	・子ども一人一人の興味関心やその子自身の育ちに寄り添い、遊びや生活の場で主体的に過ごせる保育環境を整えることができました。 ・個々の発達や特性を掴み、細かな目標を立てながら保育を行ってきました。また日々の子どもの姿を分析し発達欲求が満たされるような保育環境も整えることができました。	・様々な視点から子どもの発達を掴むことができるよう、職員同士伝え合う機会を増やし討議の場を増やします。保育知識の向上に努め、より質の高い保育を目指します。 ・引き続き専門機関と連携を図りながら個々の特性に応じた具体的な援助方法を考え、一人一人を大切にする保育や適切な環境の整えを実践していきます。
2	職員間の連携を深め、力を合わせて教育目標の達成に取り組み、それぞれの個性を発揮した豊かな環境づくりに努めましたか。	3	・日々の保育を振り返り、子どもの姿や気づいたことを職員間で共有してきました。各クラスの状況を理解しながら連携を図り協力し合って保育を行うことができました。 ・教育目標達成に向けて経験豊かな職員が中心となり対話を重ねてきたことで、より良い保育実践や環境整備に向けて試行錯誤することができました。	・保育者自身、自ら学ぶ姿勢を大切に知識を深めていきます。積極的にコミュニケーションを図り連携を強化します。 ・具体的なねらいや課題を明確にした月案討議を行います。他学年の保育や環境構成についても交流、対話する機会を増やし学び合う体制を整えていきます。
3	研修成果を実践に活かし、子どもの学びを支える力につなげることができましたか。	3	・年齢部会では活発な意見交流ができ学びも深くありました。いろいろな視点から子どもの発達を捉え、一人一人に合った援助を考えることができました。 ・今年度は子どもの人権について学びを深めることができました。学んだことを活かし各学年環境設定を見直し、より個人を尊重する保育環境を整えることができました。	・テーマ、議題を明確にし対話を大切にしたい研修体制を整えていきます。職員一人一人が学んだことを職員間で共有し一緒に知識を深めていけるよう努めていきます。 ・今後もオンデマンド研修等を利用し、様々な角度から保育を考えたり知識を深めたりできる研修を計画的におこない保育スキルを高めていきます。
4	あらゆる場面を想定した命を守る取り組みを行い、危機管理の意識を高めることができましたか。	3	・離乳食やアレルギー対応などについては調理員、職員が何重にもチェックする体制が整い安全に提供することができました。 ・毎月様々な出火場所を想定した消火訓練を実施してきました。訓練後すぐに消火の手順を振り返り全職員で共有し具体的な改善策を出し合うことができました。	・少しの変化や気づいたことを調理員、職員間で共有し積極的に改善に努めていきます。 ・地震、火災等の災害、不審者対応等、あらゆる場面を想定し今後も訓練を重ねていきます。また、職員一人一人、常に危機管理意識を高くもち日々の保育にあたります。
5	東員町16年一貫教育プランに基づき、連続した学びの充実や、小中との連携を深めることができましたか。	4	・16年一貫教育プランについての知識や理解が深まり発達段階や学びの連続性を意識して保育実践にあたることができました。また、「子育て20のポイント」について積極的に便り発信したこと保護者の意識も高まりました。 ・今年度は通常の交流に加え挨拶運動も実施しました。年長児だけでなく他学年の園児、保護者とも交流できました。	・保幼小の架け橋期であることを職員一人一人が意識し連携、協働を強化します。遊びで育まれた力を小学校へ伝え、連続した学びの充実に努めます。 ・目的やねらいを明確にし、計画的、継続的に交流できるよう努めていきます。
6	保護者の子育ての悩みを受け止め、適切な子育て支援に努め、保護者との信頼関係を深めることができましたか。	3	・保護者に園での活動内容やねらい、子どもの姿や過程の様子等を具体的に伝えることが、家庭と共に子どもの成長を見守ったり喜び合ったりすることができました。 ・子育てする中で感じている不安や悩みに丁寧に寄り添い、保護者の立場に立って家庭でできることを一緒に考えてきました。	・就学を見据えた具体的な話を伝え、保護者の方と共に子どもの発達を支えていけるよう努めます。 ・職員から積極的にコミュニケーションを図り話しやすい相談しやすい園作りを今後も目指していきます。保護者の悩みに寄り添い、前向きに子育てできるよう、保護者支援、子育て支援にも力を入れています。